福崎町 😉

フードドライブ活動、お米一合プロジェクトについて

令和5年1月19日作成令和6年2月5日改定

【生活困窮者の行政の支援について】

福崎町では、生活保護制度を中心に、生活困窮の方へのサポートを行っています。しかし、一時的に助けてほしい、生活保護を利用せず乗り切りたい、生活保護制度の基準に満たず、制度を利用できないが生活が苦しい、など、制度ではサポートできない時、NPO 法人フードバンクはりまのフードバンク活動を利用させていただいておりました。

NPO法人 フードバンクはりま FOOD BANK HARIMA

私たち「フードパンクはりま」は、まだ食べられるのに様々な理由で商品として扱えない食品を引き取り、食料を必要とする人たちに無償で届け、「食品ロス」と「空腹の人」双方を減らす "環境 " と "人"に優しい活動で社会に貢献します! さらに私達が取扱う食糧を、行政の福祉関連窓口を通して、緊急食糧支援を必要とする個人や世帯に無償分配します。

〒671-0219

姫路市飾東町豊国 503

Tel: 079-227-8304 Fax: 079-229-2501

Mail: info@foodbankharima.org



NPO 法人「フードバンクはりま」

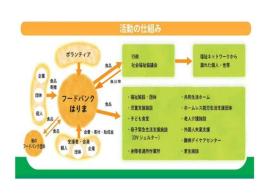
【コロナ禍による生活困窮者の増加】

そんな中、コロナ感染が猛威を振るい、コロナ禍が始まります。特に非正規として働かれている方等は、その影響が給料に直接影響を及ぼし、生活苦に陥る方が急増しました。国の給付金、社会福祉協議会の貸付制度など、公的な制度でサポートを行いつつ、NPO 法人フードバンクはりまへ食料支援の依頼を行うことも多くなりました。

【官民の連携】

NPO 法人フードバンクはりまも、広域の支援を行っていることから、当然備蓄食料も減っていきます。福崎町として、食料の支援を受けるだけではなく、食料の寄附を受け、フードバンクはりまへ届けることが重要と考え、令和2年7月3日、NPO法人フードバンクはりま、福崎町役場、福崎町社会福祉協議会の3者で、フードバンク活動に関する合意書の締結を行いました。





【フードドライブの実施】

福崎町では、随時の食料の寄附を受けつつ、定期的なフードドライブ活動を始めました。 おおよそ 3 か月に 1 回程度、福崎町役場 1 階ロビーで 2 日間の開催を続け、これまで、合計 17 回のフードドライブ活動を行い、合計 701 件、7,133 kgの食料と日用品の寄附を受け、それらを NPO 法人フードバンクはりまへ提供を行っています。

住民さんや、福崎町内の企業の方や、学生さんにもたくさんご協力をいただき、フードドライブ活動を続けることができています。















【お米一合プロジェクトの応援】

お米一合プロジェクトとは、NPO 法人フードバンクはりまをはじめ、多くのフードバンク 団体等が取組んでいる活動です。

お米一合から寄付ができる、誰でも協力し易い内容であり、誰でも気軽に社会貢献ができる 取り組みとなっています。

それらを応援するために、福崎町でも、お米一合プロジェクトの応援をはじめました。 職員が「まごごろ戦隊米ポスレンジャー」というオリジナルのキャラクターをデザインし、 専用 BOX を作りました。







